



ナース通信 第7号



令和5年2月10日発行

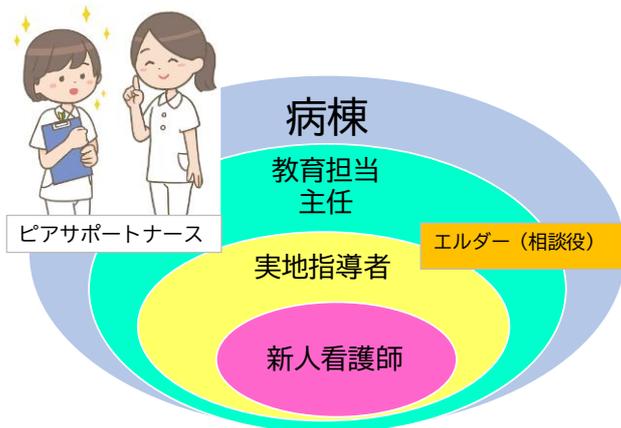
こんにちは。ナース通信 第7号の担当は、埼玉県立循環器・呼吸器病センターです。暦の上では春となりましたが、相変わらず厳しい寒さが続いています。真っ白な息に、冷たい指をこすりながら、春の訪れを心待ちにしているこの頃です。

今回のナース通信では、新規採用者の心の支えとなっているピアサポートナースの活動と11月に行われた医療安全月間についてお伝えします。



ピアサポートナースについて紹介します

当センターの新規採用者の教育支援として、各部署に知識と技術を教える「実地指導者」、相談役である「エルダーナース」がおり、教育担当主任は新人看護師のペースに合わせ教育ができるよう成長の支援をしています。ピアサポートナースは同じ病棟ではない先輩看護師が担当となります。ピアサポートナースのピアは英語の「Peer」で仲間、対等を意味します。月に1回程度、なんでも相談できる時間を設け、新規採用者の1年間を支える活動をしています。



新人ナース

「一緒に成長を喜んでくれる存在です」
「緊張せずに気を抜いてお話ができます」

ピアサポートナース「看護を続けてほしいので気持ちを察しながら声をかけています。」「院内であったときは気さくに声をかけてくれて、私もうれしいです。」



よい信頼関係が1年をかけて築けています。





医療安全月間の開催



令和4年11月1日～11月30日医療安全月間が開催されました。名札に緑色のリボンシールを付け医療安全文化の醸成をはかる月間です。昨年度に引き続き、各部門で「感謝の木」のポスターを作成しました。感謝の木には、仲間に対する日頃の感謝を「花」や「葉っぱ」のカードに書き込みました。メッセージが書かれた花や葉っぱで立派な木が完成しました。仲間からのメッセージは病棟や個人に届けられました。思いがけないプレゼントに笑顔がいっぱいになりました。



病院機能評価の認定証が来ました。

患者さんに選ばれる病院を目指し、外部機関による病院機能評価を受審しました。医師も看護師もコメディカルも事務も一丸となって、医療や看護の「あるべき姿」を真剣に考え、患者さんが求める病院に近づけることができました。12月下旬に受審結果が送られ、左記の立派な認定証をいただくことができました。



国家試験応援してます。頑張ってください！



令和5年2月12日は看護師国家試験ですね。日頃の成果を最大限発揮して、頑張ってください！！

